



S-GAP 実践農場 第1号誕生

春日部農林振興センター管内

実践農場第1号誕生

平成29年12月22日、管内から、

S-GAP 農場評価制度に基づく実践農場が誕生しました。株式会社CTFフロンティア(久喜市)です。

同日、春日部地方庁舎において、S-GAP 実践農場評価書の交付式を行いました。

S-GAP 農場評価制度

S-GAP 農場評価制度は、県の評価員がS-GAPに取り組む農場を訪問して、その取組具合を確認する制度です。

S-GAP 農場評価を受けることで、御自身の農場の良い点や改善点を明らかにすることができ、農業経営を見直すきっかけになりますので、ぜひ御活用ください。

▶ 評価書交付式農場長 砂川氏(左)



「S-GAP」って何？

GAPとは、「良い(Good)、農業の(Agricultural)、実践(Practice)」となります。良い農業とは、食べる人や作る人の安全と生活環境の安全に配慮した持続可能な農業のことです。

県では、GAPを浸透させるため、独自にマニュアルを策定し、これをS-GAP(埼玉スマートGAP)として、「埼玉県農業生産安全確認運動」を展開しています。【お問合せ】地域支援担当 ☎048-737-2134



米ゲルを活用した 米加工食品の開発

「米ゲル」とは、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構が開発した食品素材です。加水した白米を炊飯・高速せん断攪拌等によりゲル状に加工したものです。米粉と比較して低コストで保水性が高く、加工特性に優れています。

水分量等を調整することにより、やわらかいゼリー状から高弾性のゴム状のものまで作成できることからプリン、ムース、アイスクリーム、パン、パイ生地等の新食品素材として二次加工することにより多様な食品の製造が可能となります。

現在、のりす株式会社(吉川市)では、市内で生産された米ゲルに向く高アミノコース米「モミロマン」(特別栽培)を使用し、米ゲルを活用した商品開発に取り組んでいます。



埼玉県農商工連携フェア(H30.2.7)に出展しました!



※米ゲルに関する特許を国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構が取得しているため、使用には許諾が必要になります。

特許の内容については、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構のホームページをご覧ください。

米ゲル 特許 農研機構 [検索](#)

【お問合せ】
技術普及担当
☎048-737-6311



水稲省力化技術の取組み

これからの水稲栽培を考える上で、「省力化」は重要な課題です。現在、省力化に有効な「鉄コーティング種子による湛水直播(鉄コ直播)」と、育苗箱内の播種量を増やして掻き取り量を少なくし、10a当たりの使用育苗箱数を少なくする「密苗(密播)栽培」が注目されています。

鉄コ直播は、鉄粉をまぶした種子を専用播種機やヘリコプターで水田に直に播く技術です。密苗密播栽培は移植部を専用開発した田植機を使用します。密苗栽培を実施した農家では、10a当たりの使用育苗箱数を約4割削減出来ました。いずれの技術も、経営規模の拡大や労力軽減を図ることが出来る技術です。来年度も、大規模農家を中心に導入が拡大する予定です。

▶ 鉄コーティング種子直播講習会の様子(H29.5.10 春日部市)(左)



▶ 密苗(密播)育苗の移植実演会の様子(H29.5.19 久喜市)(右)

【お問合せ】
技術普及担当
☎048-737-6311